事業所における自己評価結果 R04.01 事業所名 ピースひがしね

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 ・体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	V			児発、生活介護、放デイそれぞれの専用室を設け、各 活動に適したスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	V			人員配置基準に則り、職員数を配置できている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	V			スロープ、段差を無くす等、施設内外でバリアフリー 化できている。
業務改 善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか	V			業務改善にあたり、毎月職員会議を実施し、目標設定 と振返りを実施している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			毎年保護者向けアンケート調査を実施し、職員会議等 で情報の共有と改善を図るよう努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	~			HPでは公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			V	第三者による外部評価を実施していないため、今後の 設置を検討中。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	V			事業所内でカンファレンスの実施、外部研修に参加している。
適支提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	V			利用者、保護者とのアセスメント、モニタリングを通して、聞き取った意向を計画書に反映している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを 使用しているか	V			使用している。
	11)	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			活動プログラムを各サービス担当者と計画立案し、実施している。また、活動実施状況はお便りや連絡ノート等で保護者に通知している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	V			固定化しないよう各サービス担当者が計画立案し、多種多様な活動を実施している。
	13)	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している か	7			学校の長期休暇、一部土曜日営業は利用者の希望に そった支援や延長希望に応じている。
	14)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	V			集団で運動活動、調理活動、制作活動を行い、個別活動ではリハビリや個々の取組等を実施している。

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割 分担について確認しているか	V			朝礼や各サービスにて、当日の活動内容や、役割分 担、配慮すべき点を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返り を行い、気付いた点等を共有しているか	>			日々の支援の振り返りは翌日の朝礼や職員会議等で確 認している。
	1	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につ なげているか	✓			日々の記録は毎日記録し、保護者への報告方法は連絡ノートを用いている。
	18)	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	\			定期的モニタリングを実施している。また時期に限らず、面談を実施した際に計画書を見直している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか		✓		ガイドラインを最大限活用できるよう努力している。
関係機関や保護者との連携		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した 最もふさわしい者が参画しているか				担当者会議には、管理者、サビ管、児発管に加え、サービス担当者を出席させている。
関係機関や保護者との連携	21)	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	V			利用者の学校の年間、月間予定表をいただき把握している。また予定が変わる場合は連絡を取り情報を共有している。
07Æ135	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7			医療ケアの方法については医療機関の医療指示書を取得している。また連絡体制を整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所 等との間で情報共有と相互理解に努めているか	\supset			利用者が就学前に利用していた機関とは、利用開始前 とその後に担当者会議等で情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			対象となる利用者については実施している。その後の フォローアップも実施予定。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助 言や研修を受けているか		V		派遣事業等で専門機関の方に来所頂き、研修を開催させて頂いている。しかし今年度はコロナ禍でもあり実施できなかった。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会が あるか			✓	今後の課題と考えている。
	1	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	√			各協議会には積極的に参加するよう努めているが、令和3年も開催が見送られている。そのため、メール等で情報交換、情報共有に努めている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	>			モニタリング等で保護者と情報共有し、子供の発達状 況や課題について共通理解をしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7			頻度は少ないが、モニタリングやその他の機会でペアレントトレーニングを実施している。
保護者 への説 明責任		運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓			契約時に説明し、それ以外に質問や相談があった場合は随時説明を行っている。

等	31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓			モニタリングやその他の相談機会で助言やお互いの協力の仕方等を話合っている。
	32)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士 の連携を支援しているか		7		今後の課題として考えている。コロナ前は行事等で交流を図り、保護者同士の関わりを持てるよう配慮した。
	33)	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	>			苦情相談窓口、解決責任者を契約時に説明している。 苦情は都度各関係機関に報告を行っている。
		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子ども や保護者に対して発信しているか	>			毎月、お便りでお知らせしている。また、日々の活動 参加状況やその日の様子は連絡ノートでお伝えしてい る。
	35)	個人情報に十分注意しているか	✓			契約時に個人情報の取り扱いについて保護者に説明を 行っている。また事業所内でも個人情報の取り扱いに ついて研修を実施している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓			連絡ノートを使用し、文書で互いの意思を共有している。
		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		✓		毎年実施してきたが、去年に引き続き令和3年度もコロナ禍に伴い開催を見送った。
非等応		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、 職員や保護者に周知しているか		7		マニュアルは作成し、事業所内では周知されているが、保護者への周知は行っていないため、今後検討していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている か	✓			避難訓練を年2回実施し、消防署より助言をいただい ている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている か	>			事業所内で児童虐待、障害者虐待に関する研修会を毎 年実施している。
	41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、 子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービ ス計画に記載しているか			>	今後の課題と考えている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされて いるか	✓			アセスメントやモニタリング機会等で、管理栄養士が 保護者にヒアリングを行い、栄養ケアプランを作成。 また医師からも管理指導表を受け、食事を提供してい る。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	√			事業所でヒヤリハット報告書を都度作成し、朝礼等で 情報を共有している。